



石戸小学校

学 校 だ よ り
令 和 元 年 度 6 月 号
か ば 桜 学 園 石 戸 小 学 校
T E L 0 4 8 - 5 9 1 - 2 0 0 7
F A X 0 4 8 - 5 9 1 - 2 1 9 2
<http://ishito.city.kitamoto.saitama.jp/>

梅雨入り前のさわやかな季節

校長 石塚 富美江



本校周辺でもカエルの鳴き声が聞こえるようになりました。フェンスから顔を出すように咲く紫陽花も、日に日に水色や薄紫の色を鮮やかにしています。梅雨入り前の5月下旬の頃には、

近隣の学校でも運動会・体育祭が開催されており、今ではこの時季の“風物詩”として定着した感があります。しかし、先週末は、5月の気温として観測史上最高を記録し、“涼しい地域”とされる北海道でも真夏日が連続、本県でも35度に届くばかりの暑い日々でした。幸い(?)北本市内全校は秋季開催ですが、今や9月末は「夏季」とした方がよい程の暑さが残っています。昨年度のように台風・大雨の心配もあり、春と秋どちらに開催しても“一長一短”があるようです。

さて、このところの休日に私は、溜めてしまった新聞を読んだり、のんびりとTVを観る時間とったりしています。そんな時間に観ていたTV番組で、池上 彰さんが台湾を案内(解説)されていました。台湾は、日本でも旅行先として人気が高く、年間を通じて大勢の日本人が訪れる外国とのこと。私も何度か行っておりますが、訪れる場所や施設が主だったものばかりになりがちです。歴史上も関係が深い国でありながら、知らないことがたくさんあり、番組を通して、そのことを改めて思い知ったところです。「そう言えば、高校の世界史・日本史(私が高校生の時代にはこういう教科名でした)の授業で習った記憶がある」内容もありましたが、両国の歴史を踏まえると、概要だけでも私たちが知っておくべきことがあるのではないかと考えさせられました。番組の中で、池上さんが訪ねた90代の男性は日本式の教育を受け、流暢な日本語で当時の出来事や日本への好意的な思いなどを語ります。もちろん、その方のような“親日派”ばかりではなく、日本(人)に対して今でも悪い感情をもつ人もいますでしょう。しかし、若者を中心に日本(人)への良好な感情をもつ人が多いというのです。児童や保護者の中にも台湾を旅行したことがあり、現地の人々に対し、穏やかなやさしい印象をもった人も多いかと思えます。私もそうです。また、高学年の児童では、オリンピック他世界規模の大会では、台湾が「チャイニーズ・タイペイ (Chinese Taipei)」と表記・紹介されることに「なぜ」と思うようになれば、その疑問が歴史の勉強のきっかけにもなるでしょう。番組では、その他様々な内容を取り上げていますが、先述とおりの“学び続けていない”自分の反省しきりの時間でした。同様に新聞から。最近、高齢者の交通事故や、子供をねらった傷ましい事件が後を絶たない中、明るいニュースとして、「百舌鳥・古市古墳群」の世界遺産登録が確実視されたことが載っていました。音声だけで聞いた時には、どこの古墳のことなのかがわかりませんでした。詳細を知るうちに日本最大の前方後円墳「仁徳天皇陵」を含む古墳群であるとのこと。この墳墓は“仁徳天皇のものではない”と唱える学者もいるようですが、いずれにせよ、関係会議を経て程なく、世界遺産に登録の見込みです。それを題材にした谷川俊太郎さんの「埴輪」という詩が引用されていますので、紹介します。

「すべての感情と苔むして 静かな時間とが 君の脳に沈殿している 眼の奥にある二千年の重量に耐え 君の口は何か壮大な秘密にひきしめられる」彼が十代の頃の作品で、別の人物によって次のような解説も付けられています。

“埴輪を見て説明を書けと言われても、私であれば、なんと書いてよいかわからなくなってしまふ。もちろん、感受性が足りないせいと、つい理屈っぽく考えてしまふせいもあるけれど、表現の仕方がわからないせいでもある。そういった障害を乗り越えて、実にみずみずしく、埴輪の神秘性と土俗性が表現されているのである。”私は、古墳や埴輪に関心が高いわけではありません。インターネットでは、自分が興味関心のあるニュースを拾いがちですが、新聞では、この詩のようによくわからない内容も目にするのがあって、それはとても大切なことだと思っています。一方、こんな不愉快なこともありました。過日メール配信もしていますが、登下校の見守り隊の方が、児童の登下校の時間には進入禁止の周辺道路を自動車で行き止まりとする若者に注意をしてくださりました。が、それに腹を立てた若者が、その方の両腕をつかんで押したのです。警察に連絡をすると、暴行罪が適用されるとのこと。「不審者です」との児童の知らせに職員数人が駆けつけましたが、若者は去った後でした。被害に遭われた見守り隊の方には、感謝を伝え対応の遅れをお詫びしましたが、児童のために行われた「大人として当たり前行動」への、同じ大人の自分勝手に恥ずべき言動に怒りを覚えます。子供には見せたくない場面ですが、特に中・高学年では「この若者のような大人にはならない」「見守り隊の方が正しい」という考えを強くしてほしいとも思っています。

<6月の行事予定>

日	曜	行事予定	日	曜	行事予定
1	土	「お口の健康まつり in 北本 13:00 市文化センター	17	月	
2	日		18	火	
3	月	登校指導、民生委員との懇談会	19	水	
4	火	全校朝会（「プール開き」）	20	木	授業公開・懇談会 な・4・5・6年
5	水	4年生社会科見学（利根大堰方面）	21	金	授業公開・懇談会 1・2・3年
6	木	委員会活動③（4～6年）	22	土	*蒲桜子ども会（堀の内集会所） 開講式 9:30～11:00
7	金		23	日	
8	土		24	月	
9	日		25	火	第1回学校協議会・外部評価委員会
10	月	職員会議	26	水	5年 宿泊体験学習1日目 （長瀬げんきプラザ）
11	火	ランランタイム（朝）	27	木	5年 宿泊体験学習2日目
12	水	教育相談日	28	金	
13	木	振替月曜日課（1～5校時） + 木曜6校時（3～6学年）	29	土	
14	金	給食運営委員会	30	日	
15	土				
16	日				

年間行事予定表では、6/13（木）に5学年対象「宿泊体験学習事前健診」実施の予定でした。しかし、集団健診がスリーニングであり、5月定期健診実施から間がないことを受け、学校医・山田先生と相談し定期健診と兼ねることとします。

いつもと異なる環境で2日間生活します。専門の医療機関受診を勧めた児童の他、心配なこと等あれば個別に主治医・専門機関に御相談ください。



「真夏日」もあり、熱中症予防への一層の注意が必要な時季です。教室では、エアコン利用も始め、授業他体育的活動時にも時間短縮、こまめな水分補給、家庭での適切な食事・睡眠などを指導、励行させています。先月にも掲載どおり、本校では通年で水筒（水・茶）持参を認めています。校舎内の水も飲用可能ですが、状況に応じ、どこにでも携行できる水筒の持参を改めて相談ください。



「市内球技大会を終えて」

～さわやかに、清々しく、次のステップへ～

今年も「本校の顔」として、6年生児が大きく・力強く成長しています。4月から練習を重ね、日に日に多くのことをにつけていく様子がとてもよくわかりました。日常の挨拶も最高学年らしし元気に歯切れよくできています。

中学校へ向けて、更なるステップをを指し活動していきましょう。

○保健室の開室について

黒崎養護教諭の自宅療養に伴い、定期健診やフック化物洗口等の活動を除き、保健室を開室しておりません。応急手当には職員室で、授業を受けられない程不調の児童には保護者の皆様のご協力を得ながら各々に応じ対応しています。現在、校内の適切な保健・安全管理に向け、特に保健室開室の諸手続きを進めております。

○スクール・ソーシャルワーカー、スクールカウンセラーの配置について

いて

スクール・ソーシャル・ワーカー（SSW）は、児童を取り巻く環境を改善して、児童が安心して学校生活を送れるよう、諸機関と連絡・調整をしています。

また、本年度、本校では月に一回程度、スクールカウンセラー（SC）が勤務し、児童や保護者の方との相談の機会を設けています。

相談を希望の方は担任までお知らせください。

○SSW 社会福祉士 家村健一 ○SC 野田江巳子

令和元年度北本市立石戸小学校「学校協議会」委員のご紹介

学校評議会では、学校運営に保護者・地域住民の願いや思いを反映させるとともに、学校運営への協力を仰ぎ、開かれた学校づくりを目指して、次に掲げる事項に関し校長からの諮問を受け、検討が行われます。また、校長から提起されたことについて協議することを目的としています。

- (1) 本校児童の健全育成に関する事項
- (2) 本校教育の充実推進に関する事項
- (3) 本校と家庭、地域社会の連携とそれぞれの教育力の向上・充実に関する事項

<令和元年度学校協議会委員>

加藤 潤一 様	小川 政美 様	新井 均 様	雨宮 則之 様
毛呂 一夫 様	新井 孝一 様	奥山 美穂 様	
本校より（教頭）栗原 洋人 （教務主任）吉田 克正 が本委員として出席します			

令和元年度北本市立石戸小学校「外部評価委員会」委員のご紹介

本校では、以下の目的のために、毎年「学校評価」を行い、改善を図っています。

- (1) 本校が教育活動等の成果を検証する仕組みを整備し、児童生徒がより良い教育活動を享受できるよう、学校として組織的・継続的な改善を図る。
- (2) 保護者、地域住民等に対して、本校が適切に説明責任を果たすとともに、教育活動その他の学校運営に対する理解と参画を得て、学校・家庭・地域の連携・協働による学校づくりを推進する。
- (3) 学校評価の結果に応じて、市教育委員会が本校に対して必要な支援や条件整備等必要な措置を講じることにより、一定水準の教育の「質」を保証し、その向上を図る。

外部評価委員会とは、北本市から委嘱を受け、学校の自己評価結果に対する評価（学校関係者評価）を行う組織です。

<令和元年度外部評価委員>

新井 均 様	関野 友恵 様	笠原 勝治 様
長谷部 務 様	西山 宏 様	

本年度第1回の各委員会を6月25日（火）13：15～開催いたします。
本校教育活動の改善・充実のために、ご協力をお願い申し上げます。

心肺蘇生法講習会（5月7日）

県央広域消防署の方を講師に、講習会を行いました。水泳指導も6月4日以降開始されます。AEDの操作方法の確認と実践を中心に全員が研修を行いました。



市内球技大会に向けて（5月10日）

西中生が、「かばさくら学園」の先輩として球技大会に向け指導してくれました。球技大会に向け放課後練習や大会当日も良い態度でがんばりました、“6年生おめでとう。”



安全見守り隊の紹介・避難訓練・引き渡し訓練（5月16日）

日頃お世話になっている、地域の安全見守り隊の方々の紹介式を行いました。登校時、下校時に元気なあいさつを交わしたいものです。



「地震から火災が発生した」との想定で、避難訓練を行いました。初期動作、避難、経路など安全確認をしました。そして、県央広域消防署の方に講評をいただきました。



【避難訓練】



【講評】



【引渡し訓練】